

府中市高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画策定のための調査

介護保険第2号被保険者調査

調査についてのお願い

市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

府中市では、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聴きし、平成26年度に策定を予定している「府中市高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画」の基礎資料として、**高齢者福祉全般の調査を実施します。**

この調査は、府中市にお住まいの介護保険第2号被保険者にあたる40～64歳（平成25年9月1日現在）市民の皆様の中から、1,000名を無作為に選ばせていただき、高齢者分野の施策についてのご意見やご要望をおうかがいするものです。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理するとともに、「**府中市個人情報の保護に関する条例**」に基づき適正に取り扱い、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成25年10月 府中市

記入についてのお願い

6. **封筒のあて名ご本人**について、ご記入をお願いいたします。調査票の設問中の「あなた」とは、封筒のあて名の方を指します。回答はできる限り、あて名ご本人が記入してください。なお、あて名ご本人おひとりでの回答がむずかしい場合は、ご家族や周りの方がお手伝いいただくか、あて名ご本人の意見を聞いたうえで代わりに記入してください。
7. 濃い鉛筆又は黒のボールペンで記入してください。
8. お答えをいただく際は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。
☐の場合は回答内容等を記入してください。
9. ○の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。
10. 「その他」に○印をつけられた方は、〔 〕内に具体的な答えを記入してください。

1. 調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。
記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

11月●●日(●)までにご返送ください。

調査についてご質問などがありましたら、次までお問い合わせください。

■調査についてのお問い合わせ先

府中市福祉保健部高齢者支援課地域支援係

☎ 042-335-4011（直通）

介護保険第2号被保険者調査

調査票のご記入に先立ちまして、おたずねします

※以下の質問で、「あなた」とはあて名の方ご本人のことです。お間違えのないように教えてください。

F1 あなたは現在どちらにいますか。(1つに○)

1. 自宅

3. 病院等に入院している

2. 市外に転出

4. その他〔具体的に：

〕

「2. 市外に転出」をお選びになった場合は、ここまでのご記入で結構です。返送ください。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

F2 この調査票はどなたがご記入されますか。(1つに○)

1. あて名ご本人

2. ご家族

3. その他〔具体的に：

〕

あなた（あて名の方）のご家族や生活状況についておたずねします

F3 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

1. 男性

2. 女性

F4 あなたの年齢は次のうちどれですか。(1つに○)

※平成25年9月1日現在の年齢でお答えください。

1. 40～44歳

3. 50～54歳

5. 60～64歳

2. 45～49歳

4. 55～59歳

F5 あなたの世帯の状況をお答えください。(1つに○)

1. ひとり暮らし（自分のみ）

4. 子や孫など同居

2. 夫婦のみ（配偶者は65歳以上）

5. 1～4以外で全員が65歳以上

3. 夫婦のみ（配偶者は65歳未満）

6. その他〔具体的に：

〕

F6 あなたはどちらにお住まいですか。 内にご記入ください。

町 丁目

F7 あなたのお住まいは次のうちどれですか。(1つに○)

- | | |
|--------------|------------------------------------|
| 1. 持ち家の一戸建て | 5. 公的賃貸住宅 |
| 2. 持ち家の集合住宅 | 6. 高齢者向け住宅
(有料老人ホーム、高齢者マンションなど) |
| 3. 民間賃貸の一戸建て | 7. その他 [具体的に:] |
| 4. 民間賃貸の集合住宅 | |

F8 現在のお住まいや住環境などで困っていることはありますか。(いくつでも○)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 玄関回りの段差 | 7. 家の周りに階段や坂が多い |
| 2. 廊下や居室などの段差 | 8. 家の周りの道に歩道がない、狭い |
| 3. 屋内の階段 | 9. 鉄道やバスの利用が不便 |
| 4. 浴室や浴槽 | 10. 家族が近くにいない |
| 5. エレベーターがない | 11. その他 [具体的に:] |
| 6. 買い物をする場所が近くにない | 12. 特にない |

F9 あなたは、介護保険の要介護認定を受けていますか。(1つに○)

1. 要介護認定を受けた(要支援1・2、要介護1・2・3・4・5)
2. 要介護認定を受けていない
3. わからない

F10 あなたは、障害者手帳をお持ちですか。(1つに○)

1. 身体障害者手帳
2. 愛の手帳
3. 精神障害者保健福祉手帳
4. もっていない

健康づくりの取り組みについておたずねします

問1 あなたの健康状態はいかがですか。現在の状況に最も近いものをお選びください。
(1つに○)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. とても健康である | 3. あまり健康でない |
| 2. まあまあ健康である | 4. 健康でない |

問2 あなたは、ふだんから健康や介護予防のために気をつけていることがありますか。
(いくつでも○)

1. 栄養バランスやかむ回数に気をつけて食事をしている
2. 口の中を清潔にしている(歯磨き、うがいなど)
3. ウォーキングや体操など、定期的に運動をしている
4. 規則的な生活を心がけている(夜更かしをしないなど)
5. たばこをやめた、または本数を減らしている
6. 飲酒回数や飲酒量を減らしている
7. パズルや計算作業など、脳のトレーニングに取り組んでいる
8. 定期的に健康診断を受けている
9. かかりつけの医師(主治医)に定期的に診てもらっている
10. 気持ちをできるかぎり明るく保つ
11. 休養や睡眠を十分にとっている
12. その他〔具体的に： 〕
13. 特にない

問3 あなたは、この1年間に健康診断を受けましたか。(1つに○)

- | | |
|--------|-----------|
| 1. 受けた | 2. 受けていない |
|--------|-----------|

問4 あなたは、この1年間に健康診断の結果、保健師等から次のような保健指導を受けたことがありますか。(いくつでも○)

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. 日常生活面での指導 | 5. 運動指導 |
| 2. 再検査又は精密検査の受診の勧め | 6. 治療のための受診の勧め |
| 3. 栄養指導 | 7. 保健指導を受けたことはない→問5へ進む |
| 4. 健康管理に関する情報提供 | |

問4-1 問4で「1」～「6」のいずれかに答えた方におたずねします。
あなたは、その指導に従いましたか。(1つに○)

- | | | | |
|--------|------|----------|-------------|
| 1. 従った | →問5へ | 2. 一部従った | 3. 全く従わなかった |
|--------|------|----------|-------------|

問4-2 問4-1で「2」または「3」と答えた方におたずねします。
その指導に従わなかった理由は何ですか。(いくつでも○)

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 実行するのが負担だった | 4. 特に自分には必要ない内容だと思った |
| 2. 言われたことがよくわからなかった | 5. その他 |
| 3. 具体的にどうすればよいのかわからなかった | 〔具体的に： 〕 |

問5 あなたは、**日ごろどのくらい外出されていますか。**(1つに○)

- | | | |
|-----------|-------------|--------------|
| 1. ほぼ毎日 | 3. 2～3日おき程度 | 5. 外出しない週もある |
| 2. 一日おき程度 | 4. 週に1日程度 | |

問6 **外出の主な目的は何ですか。**(いくつでも○)

- | | | |
|---------|-------------|------------|
| 1. 仕事 | 4. 友人・知人と会う | 7. 通院やリハビリ |
| 2. 買い物 | 5. 身内の者と会う | 8. その他 |
| 3. 趣味活動 | 6. ボランティア活動 | 〔具体的に： 〕 |

問7 あなたは、現在、次のような病気にかかっていますか。(いくつでも○)

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 1. 高血圧症 | 11. 目の病気(白内障・緑内障など) |
| 2. 脂質異常症
(高コレステロール血症など) | 12. 消化器の病気(胃炎・肝炎など) |
| 3. 糖尿病 | 13. 泌尿器の病気(腎臓病・前立腺肥大など) |
| 4. 動脈硬化症 | 14. 呼吸器の病気(ぜん息など) |
| 5. 腰痛症 | 15. 耳や鼻の病気(難聴など) |
| 6. 肩こり症 | 16. 歯の病気(歯周病) |
| 7. 関節症・リウマチ | 17. 骨折・外傷 |
| 8. 骨粗しょう症 | 18. 認知症 |
| 9. 脳卒中(脳出血・脳梗塞など) | 19. その他 |
| 10. 狭心症・心筋梗塞 | 〔具体的に： 〕 |
| | 20. 特にない |

問8 あなたは、病院や診療所にどの程度通っていますか。(1つに○)

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. ほぼ毎日(週5日以上) | 4. 月1～2日くらい |
| 2. 週2～4日くらい | 5. 年に数日 |
| 3. 週1日くらい | 6. ほとんど(まったく)通っていない |

生活習慣についておたずねします

問9 あなたは、ご自身の生活習慣（食事・運動など）についてどのようにお考えですか。（1つに○）

1. 生活習慣に特に問題はない
2. 生活習慣の改善が必要だとは思うが、変えようとは思わない
3. 生活習慣の改善が必要だとは思うが、容易には変えられない
4. 生活習慣の改善が必要だと思い、1か月以内に具体的に組みたいと考えている
5. 生活習慣の改善が必要だと思い、すでに取り組み・行動を始めている
6. 生活習慣については関心がない

問10 あなたは、食生活を改善するために必要なことは何だと思いますか。

(いくつでも○)

1. 食生活改善のための知識
2. 家族の協力・助け（食事を作る等）
3. 楽しみながら取り組めること
4. 結果が出ること
5. 栄養に配慮した食事をつくる技術・コツ
6. 管理栄養士等専門家のアドバイス
7. 短時間で調理ができること
8. 一緒に取り組む仲間
9. 適切な情報が得られること
10. 栄養に配慮した食事を提供してくれる店があること
11. テレビ番組や広告などでの過度の刺激や誘惑がなくなること
12. その他〔具体的に： 〕

問11 あなたは、運動習慣を改善するために必要なことは何だと思いますか。

(いくつでも○)

1. 楽しみながら取り組めること
2. 結果が出ること
3. 体を動かしたり、運動する場所
4. 体づくりや運動に関する知識
5. 簡単にできること
6. 家族の協力・助け
7. 一緒に取り組む仲間
8. 運動指導士等専門家のアドバイス
9. 運動などの技術
10. スポーツクラブに通うための経済的なゆとり
11. その他〔具体的に： 〕

問12 こころの健康づくりのために必要なことは何だと思いますか。(いくつでも○)

1. 個人が悩みやストレスをためないような工夫
2. 学校や職場におけるこころの健康づくりの推進
3. 地域でのスポーツ、趣味のサークル等のストレス発散の場への参加
4. 地域での心の健康相談などが気軽に相談できる場所の充実
5. かかりつけ医のこころの健康づくりに対する知識や診療能力の向上
6. こころの健康に対する正しい情報の提供
7. うつ予防や自殺防止に関する普及啓発
8. 学校や職場等で心の健康づくりのアドバイスを行える人材養成
9. その他〔具体的に： 〕
10. わからない

認知症についておたずねします

問13 高齢化の進行で、「認知症」になる人の割合が高くなることが予想されています。あなたはこの認知症について、どのようなことをご存知ですか。(いくつでも○)

1. 認知症は、脳の病気を原因疾患とし、誰にでも起こりうるものであること
2. 認知症の症状には、記憶障害や時間・場所が分からなくなるなど共通の症状と、妄想、幻覚、徘徊など個人差のある症状があること
3. 認知症の抑制には、食生活や生活習慣等で改善の効果があると認められていること
4. 認知症は高齢期だけでなく、若い世代でも発症する若年性認知症があること
5. 認知症は早期に発見することにより、進行を遅らせることができること
6. どれも知らなかった

問14 ご家族や親族に「認知症」と診断された方がいらっしゃいますか。(1つに○)

1. いる
2. いない

問15 認知症になったときのために、どんなことを準備しておきたいとお考えですか。
(いくつでも○)

1. 医療や介護について、希望を書き記す
2. 医療や介護について、希望を家族や周りの人に伝える
3. 信頼できるかかりつけの医師を見つける
4. 自分に代わって意思決定してくれる人を決める
5. 自分の遺産をどう処分するかを決める
6. その他〔具体的に： 〕
7. 特にない

問16 府中市では、認知症予防について啓発活動を実施していますが、参加したことがありますか、また今後参加したいですか。

(①、②それぞれについて、1つずつ○)

	参加したことがある	現在参加している	知っているが参加したことがない	知らない	参加したくない
①認知症サポーターささえ隊養成講座	1	2	3	4	5
②認知症に関する講演会やシンポジウム	1	2	3	4	5

問17 認知症になっても、住み慣れた家で暮らし続けたいと思いますか。(1つに○)

1. どうしても住み慣れた家で暮らし続けたい
2. できることならば住み慣れた家で暮らし続けたい
3. 適切な施設があれば入所したい
4. わからない

問18 認知症になっても、住み慣れた地域で生活を送るためには何が必要だとお考えですか。(いくつでも○)

1. 認知症についての啓発活動の充実
2. 認知症の相談窓口や相談体制の整備
3. 地域による見守りや支援体制の充実
4. 認知症の高齢者や家族を支援する福祉サービスの充実
5. 認知症対応型通所介護（認知症高齢者専用のデイサービス）・ショートステイ（短期入所）などの整備
6. グループホーム（認知症高齢者が共同生活する住居）などの専門的な施設の整備
7. 特別養護老人ホームなどの整備
8. 認知症に関わる専門職の育成
9. その他〔具体的に： 〕

地域のつながりについておたずねします

問19 日ごろ隣近所の人と、どの程度おつきあいをしていますか。(1 つに○)

- | | |
|-------------------------|-----------|
| 1. 個人的なことを相談し合える人がいる | } →問 20 へ |
| 2. さしさわりのないことなら話せる相手がいる | |
| 3. 道で会えばあいさつをする程度の人ならいる | |
| 4. ほとんど近所づきあいをしない | |

問 19-1 問 19 で「3」または「4」とお答えの方におたずねします。
その主な理由は何ですか。(いくつでも○)

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 仕事や家事で忙しく時間がないから | 5. 気の合う人・話の合う人が近くにいないから |
| 2. 引っ越してきて間もないから | 6. あまり関わりを持ちたくないから |
| 3. 普段つきあう機会がないから | 7. その他 |
| 4. 同世代の人が近くにいないから | 〔具体的に： 〕 |

問20 あなたが、もし高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になったとき、地域の
人たちにどんな手助けをしてほしいですか。(3つまで○)

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 安否確認など | 7. 外出の付添い |
| 2. 趣味など世間話の相手 | 8. 災害時の手助け |
| 3. 介護などの相談相手 | 9. ゴミ出し・雨戸の開け閉め |
| 4. 炊事・洗濯・掃除などの家事 | 10. 電球交換や簡単な大工仕事 |
| 5. ちょっとした買い物 | 11. その他〔具体的に： 〕 |
| 6. 子どもや介護が必要な家族の預かり | 12. 特にない |

問21 (高齢者のみならず) 地域住民が安心して暮らすことができるよう、地域の支え
合いとして、あなたご自身ができることは何ですか。(3つまで○)

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 安否確認など | 7. 外出の付添い |
| 2. 趣味など世間話の相手 | 8. 災害時の手助け |
| 3. 介護などの相談相手 | 9. ゴミ出し・雨戸の開け閉め |
| 4. 炊事・洗濯・掃除などの家事 | 10. 電球交換や簡単な大工仕事 |
| 5. ちょっとした買い物 | 11. その他〔具体的に： 〕 |
| 6. 子どもや介護が必要な家族の預かり | 12. 特にない |

災害時の対応についておたずねします

問22 あなたは、災害を考えた時、どのような不安や心配ごとがありますか。

(いくつでも○)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 老朽化などお住まい（家屋）のこと | 5. ご自身の歩行に不安があること |
| 2. 家具や家電の転倒対策が不十分なこと | 6. 同居のご家族の歩行に不安があること |
| 3. 食糧や日用品の備蓄が不十分なこと | 7. 特に不安や心配ごとはない |
| 4. 避難所がはっきり分からないこと | 8. その他〔具体的に： 〕 |

問23 災害時を想定した場合、あなたご自身やご家族について、どのような点に不安を感じますか。(いくつでも○)

- | | |
|--------------|-----------------------|
| 1. 所在、安否の確認 | 6. 生活物資、乳幼児・高齢者等向けの物資 |
| 2. 救助、避難誘導 | 7. 医療機関、診療、薬の入手 |
| 3. 避難経路、避難方法 | 8. 精神的なストレス |
| 4. 避難生活 | 9. 家屋の強度や家具の転倒防止 |
| 5. 正確な情報の入手 | 10. その他〔具体的に： 〕 |

問24 あなたは、災害に備えて市民や企業等が行政と協働で取組むとよいと思うものはどのようなことですか。(いくつでも○)

- | |
|---------------------------|
| 1. 地域住民どうしの声かけや安否確認 |
| 2. 住民たちで行う防災組織の活動の充実 |
| 3. 地域ぐるみの実践的な防災訓練の充実 |
| 4. 地域独自の防災マニュアルや防災マップの作成 |
| 5. 地域住民を対象とした防災講習会・学習会の開催 |
| 6. 小・中学校の防災教育・訓練の充実 |
| 7. 地域内外の団体等との日ごろからの交流 |
| 8. 商店や会社による場の提供や備蓄品の提供など |
| 9. その他〔具体的に： 〕 |

問25 災害時、地域の方の手助けが必要な方に、あなたができることは、どのようなことですか。(いくつでも○)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 避難所での支援活動 | 5. 水や食糧の提供 |
| 2. 手助けの必要な方への声掛け | 6. 特にできることはない |
| 3. 子どものいる家族への手助け | 7. その他〔具体的に： 〕 |
| 4. けが人の手当て | |

就労状況についておたずねします

問26 現在収入のある仕事についていますか。(1つに○)

1. 仕事についている
2. 仕事をしたいが、体の具合が悪いので働いていない
3. 仕事をしたいが、仕事がないので働いていない
4. 仕事をする意思がないので、働いていない
5. その他〔具体的に： 〕

問27 あなたは今後、どのようなかたちで働きたいと考えていますか。(1つに○)

1. 自分の知識や技能をいかして、収入の多い仕事をしたい
2. 自分の知識や技能をいかした仕事があれば、収入は少なくてもよい
3. 自分の知識や技能をいかした活動があれば、収入はなくてもよい
4. 地域に貢献できる仕事があれば、収入は少なくてもよい
5. 地域に貢献できる仕事があれば、収入はなくてもよい
6. その他〔具体的に： 〕

生活についておたずねします

問28 現在、あなたの生活に大きな位置を占めるものは何ですか。(3つまで○)

- | | | |
|------------|----------------|---------------------|
| 1. 仕事 | 6. 健康管理やスポーツ活動 | 11. 近所づきあい |
| 2. 家事 | 7. 家族との生活 | 12. 地域活動※・ボランティア活動※ |
| 3. 介護 | 8. 孫の世話 | 13. 旅行 |
| 4. 学習・趣味活動 | 9. 動物（ペット）との生活 | 14. その他〔具体的に： 〕 |
| 5. 治療・療養 | 10. 友人・知人との交流 | 15. 特にない |

※地域活動：地域の社会的諸問題の解決や福祉向上のために、住民が主体となって地域を拠点として行われる活動

※ボランティア活動：他者や社会のために自発的に行い、金銭的な利益を第一に求めない活動。また、誰もが暮らしやすい豊かな社会をめざして人や団体とつながり、社会の課題の解決に取り組む活動。

問29 あなたは、現在、どの程度生きがい（喜びや楽しみ）を感じていますか。

(1つに○)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 十分感じている | 4. まったく感じていない |
| 2. 多少感じている | 5. わからない |
| 3. あまり感じていない | |

問30 あなたは、元気に過ごすために、どのような生活をしたいと思いますか。①～④欄からそれぞれ1つ選んで番号に○をつけ、文章を完成させてください。

①どんなことで	②誰のために
1. 今までの経験を活かし、 2. いままでとは違うことで、 3. 求められていることで、 4. 何となく	1. 自分のために、 2. 家族のために、 3. 社会のために、 4. 誰のためでもなく、
③どこで	④どうしたいのか
1. 自宅で、 2. 地元で、 3. 地元以外で、 4. どこでもいいから	1. 楽しみたい 2. 役立ちたい 3. 成長していきたい 4. のんびりしたい

問31 あなたが、悩みや心配ごとを打ち明けたり、将来の生活について話し合ったりする先は誰（どこ）ですか。（3つまで○）

- | | | |
|------------|-----------------|--------------|
| 1. 配偶者 | 6. 地域の仲間 | 11. かかりつけの医師 |
| 2. 親 | 7. 仕事の仲間 | 12. 市役所 |
| 3. 子ども | 8. 趣味活動などの仲間 | 13. その他 |
| 4. 兄弟姉妹 | 9. 子育て期の仲間 | 〔具体的に： 〕 |
| 5. 学生時代の仲間 | 10. インターネット上の仲間 | 14. 話す相手はいない |

問32 現在、あなたは親の介護（遠距離介護を含む）をしていますか。（1つに○）

- | | |
|---------|--------------------|
| 1. している | 2. していない →問 33 へ進む |
|---------|--------------------|

問 32-1 問 32 で「1. している」と答えた方におたずねします。介護をしていくうえで、どのようなことに問題がありますか。（いくつでも○）

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 精神的に疲れ、ストレスがたまる | 8. 介護に関して相談する相手がいらない |
| 2. 肉体的に疲れる | 9. 介護サービスに関する情報が少ない |
| 3. 自分の自由な時間がない | 10. 家族や親族の協力が得られない |
| 4. 家族や自分の仕事に影響がある | 11. 事業所・医療機関などが家の近くにない |
| 5. 介護がいつまで続くのかわからない | 12. 夜間のサービスが足りない |
| 6. 経済的な負担がかさむ | 13. その他〔具体的に： 〕 |
| 7. 介護の方法がわからない | 14. 特にない |

問 32-2 問 32 で「1. している」とお答えの方におたずねします。介護をしていて良かったと思うことはどのようなことですか。(いくつでも○)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 家族とコミュニケーションができた | 6. 介護の技術を学ぶことができた |
| 2. 仕事や生き方の見直しにつながった | 7. 介護保険の重要さが理解できた |
| 3. 介護の専門職から知識を得られた | 8. その他 |
| 4. 地域のことを理解できるようになった | 〔具体的に： 〕 |
| 5. 同じ経験する仲間と交流できた | 9. 特にない |

問33 府中市では、身近なところで介護の相談が受けられるよう、「地域包括支援センター」を設置しています。あなたは、地域包括支援センターをご存知ですか。
(1 つに○)

1. 利用したことがある 2. 名前を聞いたことがある 3. 知らない

問34 あなたは、ふだんから携帯電話やスマートフォンを使っていますか。(1 つに○)

1. 使っている 2. 使っていない

問35 あなたは、携帯電話やスマートフォンのメールで府中市からの保健福祉や介護保険に関する情報の提供を受けたいと思いますか。(1 つに○)

1. 希望する 2. 希望しない

問36 介護保険制度は、高齢者等の介護を社会全体で支えるしくみがあり、制度は皆さんからの保険料で成り立っています。あなたは、次にあげるような介護保険の制度・しくみに関することがらをご存じですか。(いくつでも○)

1. 第1号被保険者(65歳以上)の保険料は保険者(市町村)ごとに決められること
2. 第2号被保険者(40～64歳)の保険料は全国で決められ、各医療保険者を通じ支払われること
3. 要支援・要介護認定を受ければ、在宅や施設での介護サービスを受けられること
4. 40歳以上65歳未満の方はがんなどの特定疾患があると介護サービスが受けられること
5. 介護サービスを利用すると利用料の1割を負担すること
6. 保険料を滞納すると、介護サービスの利用が制限されること
7. 介護保険サービスの提供量や利用量が増えると、保険料は高くなること
8. どれも知らない

社会活動についておたずねします

問37 あなたは、これまでに地域活動やボランティア活動など社会活動を行ったことがありますか。(1つに○)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 現在行っている | 3. 経験はない →問 38 へ進む |
| 2. 経験はあるが、現在は行っていない | |

問 37-1 問 37 で「1」または「2」と答えた方におたずねします。あなたが参加している(していた)活動は何ですか。(以下のア～シの中であてはまるものすべてに○をつけてください。また、○をつけた活動について、通算活動年数をご記入してください。)

	○をつける欄	通算活動年数
ア. 高齢者や障害者の援助や交流活動	1	約 年
イ. いじめ・不登校児の援助等子どもの健全育成活動	2	約 年
ウ. 子育てを支援する、自主保育等の活動	3	約 年
エ. スポーツ・レクリエーション、文化・学習に関する指導等の活動	4	約 年
オ. 自然・環境保護、リサイクル活動、消費者活動	5	約 年
カ. 公園・道路などの美化・清掃活動	6	約 年
キ. 地域防災・防犯等の地域安全活動	7	約 年
ク. 人権擁護や男女共同参画社会の形成に関する活動	8	約 年
ケ. 外国人や海外との交流・援助活動	9	約 年
コ. 地域づくり、まちづくりのための活動	10	約 年
サ. 自治会・町会、PTA、子供会、老人クラブ等での活動	11	約 年
シ. その他〔具体的に： 〕	12	約 年

問 37-2 問 37 で「1. 現在行っている」または「2. 経験はあるが、現在は行っていない」と答えた方におたずねします。活動のためのノウハウをどのように(どこから)得ていますか。(いくつでも○)

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1. ボランティアセンターのアドバイス | 6. 講演会・活動発表など |
| 2. 市役所のアドバイス | 7. 体験・実習など |
| 3. 実際に活動している人のアドバイス | 8. その他 |
| 4. 活動マニュアル・ハンドブックなど | 〔具体的に： 〕 |
| 5. 社会常識や仕事上のノウハウ | 9. 特にない |

問38 問37で「3. 経験はない」と答えた方におたずねします。活動に参加することがなかった理由は何ですか。(いくつでも○)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 関心がなかった | 6. 自分に合う活動がなかった |
| 2. 始めるきっかけがなかった | 7. 周りに仲間がいない |
| 3. 時間がなかった | 8. その他 |
| 4. 自分の性に合わない | 〔具体的に： 〕 |
| 5. どんな活動があるかわからない | 9. 特にない |

問39 全員の方におたずねします。あなたは、今後、地域活動やボランティア活動など社会活動に参加したいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------------|--|
| 1. 参加したい・続けたい | |
| 2. 参加の仕方を変えたい〔具体的に： 〕 | |
| 3. 活動を辞めたい・したくない | |
| 4. わからない・未定 | |

今後の高年齢者保健福祉施策についておたずねします

問40 府中市が取り組む高齢者保健福祉サービスとして、次のうちどれを優先して充実すべきとお考えですか。(3つまで○)

1. 生きがいづくりを推進すること(ボランティア、文化・スポーツ活動の促進など)
2. 高齢者が働く場所を確保すること
3. 世代間の交流・相互理解を促進すること
4. 介護予防サービスを充実すること
5. 訪問介護やデイサービスなど在宅の福祉サービスを充実させること
6. 特別養護老人ホームや老人保健施設など施設のサービスを充実させること
7. 高齢者向けの住宅を整備したり、住宅改造を支援すること
8. 認知症など病気や障害を持つ高齢者への対策を充実すること
9. 家族介護者への支援制度を充実すること
10. 健康教育、健康相談、健康診査等の保健事業や医療体制を充実させること
11. 健康づくりを推進すること(健康教室の開催・スポーツ活動の促進など)
12. 保健・福祉関係の相談を受ける窓口を充実させること
13. 保健・福祉サービスに関する人材を育成すること(保健師、介護職員など)
14. ボランティアの育成、NPO※の支援など民間活動を支援すること
15. 道路の段差解消や公共的な建物へのエレベーターの設置など、高齢者にやさしいまちづくりを推進すること
16. その他〔具体的に： 〕
17. 特にない

※ NPO: 非営利での社会貢献活動や慈善活動を行う団体のこと

グループインタビューにご参加していただける方のみ お答えください

※府中市では、市民の皆様の声を反映した計画を策定するため、平成 25 年 12 月頃にグループインタビューの実施を予定しております。ご参加いただける場合は、お手数ですが、下記にお名前、住所、連絡先（電話番号、FAX 番号）をご記入ください。日時・場所等詳細が決まりましたら、あらためてご連絡させていただきます。なお、参加者が多数の場合は、お断りさせていただく場合もございますので、予めご了承ください。

お 名 前	
住 所	
電話番号	
FAX 番号	

—ご協力ありがとうございました—

府中市高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画策定のための調査

65 歳以上の方への調査（高齢者一般調査）

調査についてのお願い

市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

府中市では、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聴きし、平成 26 年度に策定を予定しております「府中市高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画」の基礎資料として、高齢者福祉全般の調査を実施します。

この調査は、府中市にお住まいの 65 歳以上（平成 25 年 9 月 1 日現在）の市民の皆様の中から、1,800 名を無作為に選ばせていただき、ご意見やご要望をおうかがいするものです。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理するとともに、「府中市個人情報の保護に関する条例」に基づき適正に取り扱い、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成 25 年 10 月 府中市

記入についてのお願い

1. 封筒のあて名ご本人について、ご記入をお願いいたします。調査票の設問中の「あなた」とは、封筒のあて名の方を指します。回答はできる限り、あて名ご本人が記入してください。なお、あて名ご本人おひとりでの回答がむずかしい場合は、ご家族や周りの方がお手伝いいただくか、あて名ご本人の意見を聞いたうえで代わりに記入してください。
2. 濃い鉛筆又は黒のボールペンで記入してください。
3. お答えをいただく際は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。
の場合は回答内容等を記入してください。
4. ○の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。
5. 「その他」に○印をつけられた方は、〔 〕内に具体的な答えを記入してください。

調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。

記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

11 月●●日(●)までにご返送ください。

調査についてご質問などがありましたら、次までお問い合わせください。

■調査についてのお問い合わせ先

府中市福祉保健部高齢者支援課地域支援係

☎ 042-335-4011（直通）

65 歳以上の方への調査（高齢者一般調査）

調査票のご記入に先立ちまして、おたずねします

※以下の質問で、「あなた」とはあて名の方ご本人のことです。お間違えのないように教えてください。

F 1 あなたは現在どちらにいますか。（1 つに○）

1. 自宅

3. 病院等に入院している

2. 市外に転出

4. その他〔具体的に：

〕

→ 「2. 市外に転出」をお選びになった場合は、ここまでのご記入で結構です。
ご返送ください。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

F 2 この調査票はどなたがご記入されますか。（1 つに○）

1. あて名ご本人

2. ご家族

3. その他〔具体的に：

〕

あなた（あて名ご本人）についておたずねします

F 3 あなたの性別は次のうちどれですか。（1 つに○）

1. 男性

2. 女性

F 4 あなたの年齢は次のうちどれですか。（1 つに○）

*平成 25 年 9 月 1 日現在の年齢でお答えください。

1. 65～69 歳

3. 75～79 歳

5. 85～89 歳

7. 95 歳以上

2. 70～74 歳

4. 80～84 歳

6. 90～94 歳

F 5 あなたの世帯の状況をお答えください。（1 つに○）

1. ひとり暮らし（自分のみ）

4. 子や孫など同居

2. 夫婦のみ（配偶者は 65 歳以上）

5. 1～4以外で全員が 65 歳以上

3. 夫婦のみ（配偶者は 65 歳未満）

6. その他〔具体的に：

〕

F6 日中、あなたはひとりでいることが多いですか。(1つに○)

1. ひとりでいることが多い 2. ひとりでいることは少ない

F7 あなたの近くには、食事や介護などを分けあっている身内や友人・知人などがいますか。（1つに○）

1. いる 2. いない → F8へ進む

F7-1 F7で「1. いる」と答えた方におたずねします。それはどなたですか。
(いくつでも○)

1. 別居の子ども、子ども世帯 4. 友人・知人
2. 別居の親、親世帯 5. ボランティア
3. 1・2以外の親戚 6. その他〔具体的に： _____〕

F 7-2 一番よく行き来する方との距離はどのくらいですか。時間は、ふだん行き来する方法でお答えください。(1つに○)

1. となり
2. 10 分未満
3. 10～20 分未満
4. 20～30 分未満
5. 30～1 時間未満
6. 1 時間以上

F8 あなたはどちらにお住まいですか。 内にご記入ください。

町 丁目

F9 あなたのお住まいは次のうちどれですか。(1つに○)

1. 持ち家の一戸建て
2. 持ち家の集合住宅
3. 民間賃貸の一戸建て
4. 民間賃貸の集合住宅
5. 公的賃貸住宅
6. 高齢者向け住宅
(有料老人ホーム、高齢者マンションなど)
7. その他 [具体的に:]

1. 玄関回りの段差
2. 廊下や居室などの段差
3. 屋内の階段
4. 浴室や浴槽
5. エレベーターがない
6. 買い物をする場所が近くにない
7. 家の周りに階段や坂が多い
8. 家の周りの道に歩道がない、狭い
9. 鉄道やバスの利用が不便
10. 家族が近くにいない
11. その他〔具体的に： 〕
12. 特にない

問44 府中市ではいつまでも元気で暮らせるための、さまざまな「介護予防」事業を行っています。以下のようなサービスの利用状況、今後の利用意向についておたずねします。（サービスごとに、「利用状況」、「利用意向」に1つずつ○）

	利用状況				利用意向		
	利用している	利用したことがある	知っているが利用していない	知らない	利用したい	利用したくない	わからない
①介護予防に関する講座	1	2	3	4	1	2	3
②介護予防教室（筋力向上、転倒予防）	1	2	3	4	1	2	3
③介護予防教室（認知症予防）	1	2	3	4	1	2	3
④介護予防教室（栄養改善、口腔ケア）	1	2	3	4	1	2	3
⑤介護予防教室（うつ予防）	1	2	3	4	1	2	3
⑥介護予防教室（尿失禁予防）	1	2	3	4	1	2	3
⑦地域デイサービス（ほっとサロン）	1	2	3	4	1	2	3
⑧介護予防推進センター *1	1	2	3	4	1	2	3
⑨いきいきハウス *2	1	2	3	4	1	2	3

問5へ進む

- *1 「介護予防推進センター」は分梅町にある「いきいきプラザ」内にあり、介護予防事業を行っています。
 *2 「いきいきハウス」は「介護予防推進センター」にあって、ひとり暮らしの高齢者などが生活リズムを整えるため、7日を限度に滞在することができる施設です。

問4-1 あなたが「介護予防」に取り組んだ結果、具体的な成果がありましたか。
 （いくつでも○）

1. 通院回数が減った
2. 薬を飲む量が減った
3. 体力が向上した
4. 気持ちが前向きになり生活にはりがでた
5. 他の人と交流でき、外出の回数が増えた
6. 介護予防に積極的に取り組むようになった
7. 具体的に成果はなかった
8. 困った時にいろいろな情報が得られる
9. その他〔具体的に： 〕
10. 特にない

問45 これから「介護予防」に望まれることは何ですか。(いくつでも○)

1. 介護予防事業を継続的に実施する
2. 誰でも気軽に参加しやすいように介護予防事業の内容を改善する
3. 介護予防の自主グループなど市民による自主的な運動に広げる
4. 地域住民による声かけや誘い合いを促進する
5. 介護予防は効果がないので必要ない
6. その他〔具体的に： 〕
7. 特にない

問46 介護が必要とならないようにするために、何かしていることはありますか。
(1つに○)

1. している 2. 興味はある 3. 何もしていない →問7へ進む

問6-1 問6で「1」または「2」とお答えの方におたずねします。具体的に何をしていますか(興味がありますか)。(いくつでも○)

1. 栄養バランスやかむ回数に気をつけて食事をしている
2. 口の中を清潔にしている(歯磨き、うがいなど)
3. ウォーキングや体操など、定期的に運動をしている
4. 規則的な生活を心がけている(夜更かしをしないなど)
5. たばこをやめた、または本数を減らしている
6. 飲酒回数や飲酒量を減らしている
7. パズルや計算作業など、脳のトレーニングに取り組んでいる
8. 定期的に健康診断を受けている
9. かかりつけの医師(主治医)に定期的に診てもらっている
10. 気持ちをできるかぎり明るく保つ
11. 休養や睡眠を十分にとっている
12. その他〔具体的に： 〕
13. 特にない

認知症についておたずねします

問47 高齢化の進行で、「認知症」になる人の割合が高くなることが予想されています。
あなたはこの認知症について、どのようなことをご存知ですか。

(いくつでも○)

1. 認知症は、脳の病気を原因疾患とし、誰にでも起こりうるものであること
2. 認知症の症状には、記憶障害や時間・場所が分からなくなるなど共通の症状と、妄想、幻覚、徘徊など個人差のある症状があること
3. 認知症の抑制には、食生活や生活習慣等で改善の効果があると認められていること
4. 認知症は高齢期だけでなく、若い世代でも発症する若年性認知症があること
5. 認知症は早期に発見することにより、進行を遅らせることができること
6. どれも知らなかった

問48 府中市では、認知症について次のような啓発活動を実施していますが、参加したことがありますか、また今後参加したいですか。(① ②それぞれ1つずつ○)

	参加したことがある	現在参加している	知っているが参加したことがない	知らない	参加したくない
① 認知症サポーターささえ隊養成講座	1	2	3	4	5
② 認知症に関する講演会やシンポジウム	1	2	3	4	5

問49 認知症になっても、住み慣れた地域で生活を送れるためには何が必要だとお考えですか。(いくつでも○)

1. 認知症についての啓発活動の充実
2. 認知症の相談窓口や相談体制の整備
3. 地域による見守りや支援体制の充実
4. 認知症の高齢者や家族を支援する福祉サービスの充実
5. 認知症対応型通所介護（認知症高齢者専用のデイサービス）・ショートステイ（短期入所）などの整備
6. グループホーム（認知症高齢者が共同生活するすまい）などの専門的な施設の整備
7. 特別養護老人ホームなどの整備
8. 認知症ケアに関する専門職の育成
9. その他〔具体的に： 〕

問50 認知症になっても、住み慣れた家で暮らし続けたいと思いますか（1つに○）

1. どうしても住み慣れた家で暮らし続けたい
2. できることならば住み慣れた家で暮らし続けたい
3. 適切な施設があれば入所したい
4. わからない

地域生活と日頃の活動についておたずねします

問51 あなたは、隣近所の人と、どの程度おつきあいしていますか。（1つに○）

1. 個人的なことを相談し合える人がいる
 2. さしさわりのないことなら、話せる相手がいる
 3. 道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる
 4. ほとんど近所づきあいをしない
- } →問 12 へ進む

問 11-1 問 11 で「3. 道で会えば、あいさつする程度の人ならいる」、または「4. ほとんど近所づきあいをしない」と答えた方におたずねします。その主な理由を次の中からお答え下さい。（いくつでも○）

1. 仕事や家事で忙しく時間がないから
2. 引っ越してきて間もないから
3. 普段つきあう機会がないから
4. 同世代の人が近くにいないから
5. 気の合う人・話の合う人が近くにいないから
6. あまり関わりを持ちたくないから
7. その他〔具体的に： 〕

問52 あなたが、もし病気や事故などで日常生活が不自由になったとき、地域の人たちどんな手助けをしてほしいですか。（3つまで○）

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 安否確認など | 7. 外出の付添い |
| 2. 趣味など世間話の相手 | 8. 災害時の手助け |
| 3. 介護などの相談相手 | 9. ゴミ出し・雨戸の開け閉め |
| 4. 炊事・洗濯・掃除などの家事 | 10. 電球交換や簡単な大工仕事 |
| 5. ちょっとした買い物 | 11. その他〔具体的に： 〕 |
| 6. 子どもや介護が必要な家族等の預かり | 12. 特にない |

問53 (高齢者のみならず) 地域住民が安心して暮らすことができるよう、地域の支え合いとして、あなたご自身ができることは何ですか。(3つまで○)

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 安否確認など | 7. 外出の付添い |
| 2. 趣味など世間話の相手 | 8. 災害時の手助け |
| 3. 介護などの相談相手 | 9. ゴミ出し・雨戸の開け閉め |
| 4. 炊事・洗濯・掃除などの家事 | 10. 電球交換や簡単な大工仕事 |
| 5. ちょっとした買い物 | 11. その他〔具体的に： 〕 |
| 6. 子どもや介護が必要な家族等の預かり | 12. 特にない |

問54 あなたは、地域活動*やボランティア活動*、お住まいの地域の行事にどの程度参加していますか。(1つに○)

- | | | |
|-------------|---------------|-------------|
| 1. よく参加している | 3. あまり参加していない | } →問 15 へ進む |
| 2. 時々参加している | 4. 全く参加していない | |

※地 域 活 動： 地域の社会的諸問題の解決や福祉向上のために、住民が主体となって地域を拠点として行われる活動

※ボランティア活動：他者や社会のために自発的に行い、金銭的な利益を第一に求めない活動。また、誰もが暮らしやすい豊かな社会をめざして人や団体とつながり、社会の課題の解決に取り組む活動。

問 14-1 問 14 で「1.よく参加している」または「2. 時々参加している」と答えた方におたずねします。どのような活動に参加していますか。
(いくつでも○)

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| 1. 町内会、自治会などの活動 | 6. 防災訓練や交通安全運動 |
| 2. 子ども会やPTAの活動 | 7. お祭りや運動会などのレクリエーション活動 |
| 3. 老人クラブの活動 | 8. その他 |
| 4. 婦人会の活動 | 〔具体的に： 〕 |
| 5. 地域でのボランティア活動 | |

問55 あなたが、これから「参加したい活動」はどのようなものですか。

(いくつでも○)

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. 自分の楽しみが得られる活動 | 7. 隣近所の人と協力しあえる活動 |
| 2. 興味ある知識や教養が得られる活動 | 8. 家庭生活を豊かにする家族ぐるみの活動 |
| 3. 自分の知識や経験をいかせる活動 | 9. 地域や社会に役立つ活動 |
| 4. 生きがいや健康づくりができる活動 | 10. 行政への協力や地域自治にかかわる活動 |
| 5. 余暇時間を充実させる活動 | 11. その他〔具体的に： 〕 |
| 6. 仲間づくりや親しい友人ができる活動 | 12. 特にない |

問56 あなたが、社会活動をするとしたら、どのような活動をしたいですか。

(いくつでも○)

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| 1. 国際的に貢献できる活動 | 7. 防犯・防災など安全な地域生活に貢献できる活動 |
| 2. 地域産業・地域経済に貢献できる活動 | 8. 他者の健康づくりに貢献できる活動 |
| 3. 子どもの福祉・教育・健全育成に関する活動 | 9. 地域コミュニティづくりに貢献できる活動 |
| 4. 高齢者や障害者の福祉に貢献できる活動 | 10. その他 |
| 5. 環境問題に貢献できる活動 | 〔具体的に： |
| 6. 文化芸術振興に貢献できる活動 | 11. わからない |

問57 あなたは、普段の生活で、家族以外に若い世代との交流はありますか。

(1 つに○)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. よくある | 3. ほとんどない |
| 2. たまにある | 4. まったくない |

問58 あなたは、若い世代との交流があった場合、どうされますか。(1 つに○)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 積極的に参加したい | 4. まったく参加したくない |
| 2. できるかぎり参加したい | 5. わからない |
| 3. あまり参加したくない | |

問59 あなたは現在、収入のある仕事についていますか。(1 つに○)

- | | |
|------------------------------|-------------|
| 1. 仕事についている | } →問 20 へ進む |
| 2. 仕事をしたいが、からだの具合が悪いので働いていない | |
| 3. 仕事をしたいが、仕事がないので働いていない | |
| 4. 仕事をする意思がないので、働いていない | } →問 20 へ進む |
| 5. その他〔具体的に： | |

問 19-1 問 19 で「3.仕事をしたいが、仕事がないので働いていない」と答えた方におたずねします。あなたはどのようなかたちで働きたいと考えていますか。(1 つに○)

- | | |
|-----------------------------------|---|
| 1. 自分の知識や技能をいかして、収入の多い仕事をしたい | |
| 2. 自分の知識や技能をいかした仕事があれば、収入は少なくともよい | |
| 3. 自分の知識や技能をいかした活動があれば、収入は少なくともよい | |
| 4. 地域に貢献できる仕事があれば、収入は少なくともよい | |
| 5. 地域に貢献できる仕事があれば、収入は少なくともよい | |
| 6. その他〔具体的に： | 〕 |

問64 災害時を想定した場合、あなたご自身やご家族について、どのような点に不安を感じますか。(いくつでも○)

- | | |
|--------------|-----------------------|
| 1. 所在、安否の確認 | 6. 生活物資、乳幼児・高齢者等向けの物資 |
| 2. 救助、避難誘導 | 7. 医療機関、診療、薬の入手 |
| 3. 避難経路、避難方法 | 8. 精神的なストレス |
| 4. 避難生活 | 9. 家屋の強度や家具の転倒防止 |
| 5. 正確な情報の入手 | 10. その他〔具体的に： 〕 |

問65 あなたは、災害に備えて市民や企業等が行政と協働で取組むとよいと思うものはどのようなことですか。(いくつでも○)

1. 地域住民どうしの声かけや安否確認
2. 住民たちで行う防災組織の活動の充実
3. 地域ぐるみの実践的な防災訓練の充実
4. 地域独自の防災マニュアルや防災マップの作成
5. 地域住民を対象とした防災講習会・学習会の開催
6. 小・中学校の防災教育・訓練の充実
7. 地域内外の団体等との日ごろからの交流
8. 商店や会社による場の提供や備蓄品の提供など
9. その他〔具体的に： 〕

問66 災害時、地域の方の手助けが必要な方に、あなたができることは、どのようなことですか。(いくつでも○)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 避難所での支援活動 | 5. 水や食糧の提供 |
| 2. 手助けの必要な方への声掛け | 6. 特にできることはない |
| 3. 子どものいる家族への手助け | 7. その他〔具体的に： 〕 |
| 4. けが人の手当て | |

情報についておたずねします

問67 あなたは、健康や介護予防、福祉サービス、地域の活動などに関する情報をどこから（誰から）入手していますか。（いくつでも○）

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 1. 府中市の広報紙・ホームページ 2. 府中市の相談窓口 3. 地域包括支援センター※ 4. 保健所・保健センター 5. 社会福祉協議会 6. いきいきプラザ 7. 病院・診療所・歯科医・薬剤師など 8. ホームヘルパー 9. ケアマネジャー | <ul style="list-style-type: none"> 10. 民生委員・児童委員 11. 家族や親戚 12. 友人・知人、近隣の人 13. 新聞、雑誌、テレビ、ラジオ 14. 講演会、講習会等 15. インターネット、SNS※ 16. その他 17. 特になし |
|--|--|
- 〔具体的に： 〕

※ SNS: フェイスブックやツイッターなどのインターネットの社会的ネットワーク

問68 あなたは、暮らしの問題や福祉について、困りごとがあったとき、どこに（誰に）相談しますか。（いくつでも○）

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 1. 府中市の相談窓口 2. 地域包括支援センター※ 3. 保健所・保健センター 4. 社会福祉協議会 5. 病院・診療所の医師・看護師など 6. ホームヘルパーなど 7. ケアマネジャー | <ul style="list-style-type: none"> 8. 民生委員・児童委員 9. 家族や親族 10. 友人・知人、近隣の人 11. その他 12. 相談できる人がいない |
|--|---|
- 〔具体的に： 〕

※ 地域包括支援センターは、保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーが中心となって、介護予防事業のマネジメント、総合的な相談・支援、虐待防止などの権利擁護などを行います。
府中市では、市内に 11 ヶ所の地域包括支援センターがあります。

高齢者保健福祉サービスについておたずねします

問69 府中市では介護保険以外にも様々な高齢者保健福祉サービスを行っています。
 以下のようなサービスの利用状況、今後の利用意向についておたずねします。
 （サービスごとに「利用状況」「利用意向」に1つずつ○）

サービス名	サービス内容	利 用 状 況				利 用 意 向		
		利用している	利用したこと がある	知っているが利 用していない	知らない	利用したい	したくない 利用	わからない
①「食」の自立支援サービス	ひとり暮らし等の人に、調理した食事を自宅に届けて安否確認を行う	1	2	3	4	1	2	3
②自立支援ショートステイ	月7日を上限に養護老人ホームに滞在し健康管理や食事提供などを行う	1	2	3	4	1	2	3
③高齢者医療ショートステイ	月7日を上限に市内の医療機関に入院し健康管理や食事提供などを行う	1	2	3	4	1	2	3
④日常生活用具給付とレンタル	一時的に身体機能が低下している方に用具などを貸与または給付する	1	2	3	4	1	2	3
⑤はいかい高齢者探索サービス	はいかい探索システムを用い、行方不明時に早期に居場所を発見し、事故を防止する	1	2	3	4	1	2	3
⑥日常生活用品（おむつ）の助成	おむつが必要な方が布または紙おむつのどちらかを自宅で受け取れる	1	2	3	4	1	2	3
⑦車いす福祉タクシー	リフト付タクシーによる通院を年間24回を限度に利用できる	1	2	3	4	1	2	3
⑧寝具乾燥サービス	月1回、寝具を自宅まで受け取りに行き、その日のうちに乾燥して返す	1	2	3	4	1	2	3
⑨訪問理髪サービス	自宅に月1回理容師が訪問して理髪が受けられる	1	2	3	4	1	2	3

（注）サービスの利用に際しては、利用条件のあるものもあります。

問70 今後、**府中市**が取り組む保健福祉サービスとして、次のうちどれを優先して充実すべきだとお考えですか。（3つまで○）

1. 生きがいづくりを推進すること（ボランティア、文化・スポーツ活動の促進など）
2. 高齢者が働く場所を確保すること
3. 世代間の交流・相互理解を促進すること
4. 介護予防サービスを充実すること
5. 訪問介護やデイサービスなど在宅の福祉サービスを充実させること
6. 特別養護老人ホームや老人保健施設など施設のサービスを充実させること
7. 高齢者向けの住宅を整備したり、住宅改造を支援すること
8. 認知症など病気や障害を持つ高齢者への対策を充実すること
9. 家族介護者への支援制度を充実すること
10. 健康教育、健康相談、健康診査等の保健事業や医療体制を充実させること
11. 健康づくりを推進すること（健康教室の開催・スポーツ活動の促進など）
12. 保健・福祉関係の相談**を受ける**窓口を充実させること
13. 保健・福祉サービスに関する人材を育成すること（保健師、介護職員など）
14. ボランティアの育成、**NPO※**の支援など民間活動を支援すること
15. 道路の段差解消や公共的な建物への**エレベーター**の設置など、高齢者にやさしいまちづくりを推進すること
16. その他〔具体的に： 〕
17. 特にない

※ NPO: 非営利での社会貢献活動や慈善活動を行う団体のこと

介護保険についておたずねします

問71 あなたの保険料段階は何段階ですか。※3・4段階の方は「特例」かどうかにも○をつけてください。（1つに○）

段階

（特例・特例ではない）

わからない

※わからない方はわからないに○をつけてください

問72 あなたは今後、介護が必要になったら、介護保険サービスを利用したいですか。
（1つに○）

- | | | |
|----------------|---|-----------|
| 1. ぜひ利用したい | → | 問 33 へ進む |
| 2. 条件が合えば利用したい | | |
| 3. 利用したくない | } | →問 33 へ進む |
| 4. わからない | | |

問 32-1 問 32 で「2. 条件が合えば利用したい」と答えた方におたずねします。
具体的にどのような条件が合えば利用したいですか。（いくつでも○）

1. 利用料や保険料の負担が軽くなれば利用したい
2. よいサービスがあれば利用したい
3. よいサービス提供事業者がいれば利用したい
4. よいケアマネジャーがいれば利用したい
5. 家族が賛成してくれれば利用したい
6. その他〔具体的に： 〕

問73 介護保険サービスでは以下のようなサービスを行っています。
これらのサービスの認識度、今後の利用意向についておたずねします。
（サービスごとに「認識度」「利用意向」に1つずつ○）

事業名			認 識 度		利 用 意 向	
			知って いる	知らない	利用 したい	利用した くない
在宅サ ー ビ ス	①訪問介護	家事など身の周りの援助と身体介護を行う	1	2	1	2
	②訪問看護	看護師等による家庭を訪問する看護	1	2	1	2
	③訪問リハビリテーション	理学療法士・作業療法士などが家庭を訪問して行う機能訓練	1	2	1	2
	④訪問入浴介護	入浴車により家庭を訪問する入浴介護	1	2	1	2
	⑤居宅療養管理指導	医師や看護師、歯科医師、管理栄養士等が訪問して行う療養上の管理指導	1	2	1	2
	⑥通所介護（デイサービス）	デイサービスセンターなどでの入浴、レクリエーション、機能訓練	1	2	1	2
	⑦通所リハビリテーション（デイケア）	老人保健施設等での医療の管理下におけるリハビリテーション	1	2	1	2
	⑧短期入所生活介護（ショートステイ）	特別養護老人ホーム等への短期間入所	1	2	1	2
	⑨短期入所療養介護（ショートステイ）	老人保健施設等への短期間入所	1	2	1	2
	⑩特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム等）	有料老人ホーム、ケアハウス入所者への介護や日常生活上の世話	1	2	1	2
	⑪福祉用具の貸与	車いす等の貸出し	1	2	1	2
	⑫特定福祉用具販売	排泄等に用いられる用具を購入した場合 10 万円を限度に購入費を支給	1	2	1	2
	⑬住宅改修費の支給	手すりやスロープなど、住宅の小規模な改修費の支給	1	2	1	2

事業名			認 識 度		利 用 意 向	
			知って いる	知らない	利用 したい	利用した くない
施設 サー ビス	①介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	常時介護を必要とする65歳以上の高齢者が入所する施設	1	2	1	2
	②介護老人保健施設 (老人保健施設)	看護・介護・療養等の専門的なサービスや日常的なサービスを提供し、機能回復を目指す施設	1	2	1	2
	③介護療養型医療施設	医療や看護が可能な介護の体制を充実させた医療施設	1	2	1	2

問74 次のような地域密着型サービス※を知っていますか。また、利用したいと思いませんか。(サービスごとに「認識度」と「利用意向」に1つずつ○)

事業名		認 識 度		利 用 意 向	
		知って いる	知らない	利用 したい	利用した くない
①夜間対応型 訪問介護	夜間帯の定期巡回の訪問介護と利用者からの通報による随時対応の訪問介護を組み合わせ提供	1	2	1	2
②定期巡回・随時 対応訪問介護看護	日中・夜間を通じて、定期巡回と利用者からの通報により随時対応する訪問介護と訪問看護を組み合わせ24時間サービスを提供	1	2	1	2
③認知症対応型 通所介護	認知症の居宅要介護者を対象とした通所介護サービスを提供	1	2	1	2
④小規模多機能型 居宅介護	「通い」を中心として、要介護者の状態から、随時「訪問」や「泊り」を組み合わせサービスを提供	1	2	1	2
⑤複合型サービス	小規模多機能型居宅介護と訪問看護など、複数の既存のサービスを提供	1	2	1	2
⑥認知症対応型 共同生活介護 (グループホーム)	地域のなかで中程度の認知症高齢者が少数の家庭的な環境の中で暮らす介護を提供	1	2	1	2
⑦地域密着型 介護老人福祉施設 入所者生活介護	入居定員29人以下の小規模な特別養護老人ホーム	1	2	1	2

※ 地域密着型サービスは、高齢者が住み慣れた地域での生活を継続することができるよう、身近な生活圏域ごとにサービスの拠点をづくり、市町村ごとに行われるサービスです。

府中市は市内を6つの圏域に分けています。

問75 あなたは介護が必要になったとき、どこで生活したいと考えていますか。

(1つに○)

1. 家族などの介護を受けながら自宅で生活したい
2. 在宅サービスを受けながら自宅で生活したい
3. 特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所したい
4. 有料老人ホームに入居したい
5. グループホーム（少人数を単位とした小規模な共同住居）に入居したい
6. 見守りや生活支援サービス等のついた高齢者向け住宅に入居したい
7. 自宅近くで様々なサービスが受けられる小さな施設（小規模多機能型居宅介護）などを利用しながら生活したい
8. その他〔具体的に： 〕
9. わからない

問76 「介護保険制度」全体をよりよくするため、府中市が力を入れるべきことは次のうちどれですか。（3つまで○）

1. サービス事業者の質を高めること
2. ケアマネジャーやホームヘルパーなどの人材を育成すること
3. 府中市内に特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護施設を増やすこと
4. サービス利用料を補助するなど利用者の費用負担を軽減する経済的給付を増やすこと
5. 介護支援ボランティアポイント制などの新しい仕組みを考えること
6. 介護保険についての市民向けの勉強会などを実施すること
7. 寝たきりにならないよう、介護予防のサービスに力を入れること
8. 高齢期に住み続けられる、住まいの施策を充実すること
9. 地域全体で介護を支援するしくみづくりを行うこと
10. 身近な地域で介護保険サービスが受けられる拠点を増やすこと
11. 困ったときに気軽に介護相談ができる場所を増やすこと
12. 家族介護の負担を軽減する支援策を充実すること
13. 地域包括支援センターの機能を充実すること
14. 介護保険サービスをカバーする府中市の高齢者保健福祉サービスを充実すること
15. 介護保険制度を使いやすいものにすること
16. その他〔具体的に： 〕
17. わからない

高齢者の権利擁護などについておたずねします

問77 高齢者の権利や生活を守るための制度や相談窓口として以下のようなものがありますが、あなたの知っているものはありますか。(いくつでも○)

1. 成年後見制度
2. 日常生活自立支援事業
3. 府中市地域包括支援センター
4. 府中市高齢者見守りネットワーク
(危機去れシステム)
5. 高齢者虐待防止法
6. 府中市の相談窓口
7. 府中市社会福祉協議会
(ふれあい福祉相談室など)
8. 権利擁護センターふちゅう
9. 消費生活相談室
10. 知っているものはない

問78 あなたのまわり（あなたご本人も含む）に、下の枠内のようなことでお困りと思われる方はいらっしゃいますか。（いくつでも○）

<例>

- ・金銭管理ができない
- ・福祉サービスの利用に対する苦情が言えない
- ・悪質商法にだまされた
- ・土地の権利書など重要書類の管理ができない
- ・行政や金融機関などへの窓口手続きができない

1. あなたご本人
2. 配偶者
3. 子ども
4. 親族
5. 知人
6. 近隣の人
7. その他〔具体的に： 〕
8. いない →問 39へ進む

問 38-1 問 38 で「1」～「7」のいずれかをお答えの方におたずねします。それはどのような事例ですか。(いくつでも○)

1. 金銭管理ができない
2. 悪質商法にだまされた
3. 行政や金融機関などへの窓口手続きができない
4. 福祉サービスの利用に対する意見が言えない
5. 土地の権利書など重要書類の管理ができない
6. その他〔具体的に： 〕

最後に、**府中市**への要望についておたずねします

問79 高齢者保健福祉や介護保険について、府中市への要望・意見や知りたい情報がありましたら、ご自由にお書きください。

グループインタビューにご参加していただける方のみ
お答えください

※府中市では、市民の皆様の声を反映した計画を策定するため、平成 25 年 12 月頃にグループインタビューの実施を予定しております。ご参加いただける場合は、お手数ですが、下記にお名前、住所、連絡先（電話番号、FAX 番号）をご記入ください。日時・場所等詳細が決まりましたら、あらためてご連絡させていただきます。なお、参加者が多数の場合は、お断りさせていただく場合もございますので、予めご了承ください。

お 名 前	
住 所	
電 話 番 号	
FAX 番 号	

———ご協力ありがとうございました———

府中市高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画策定のための調査

介護予防に関する調査

調査についてのお願い

市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

府中市では、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聴きし、平成 26 年度に策定を予定しております「府中市高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画」の基礎資料として、高齢者福祉全般の調査を実施します。

この調査は、府中市にお住まいの「心と体の健康チェック」の結果により介護予防の必要性が高い市民の皆様の中から、300 名を無作為に選ばせていただき、ご意見やご要望をおうかがいするものです。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理するとともに、「府中市個人情報の保護に関する条例」に基づき適正に取り扱い、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成 25 年 10 月 府中市

記入についてのお願い

11. 封筒のあて名ご本人について、ご記入をお願いいたします。調査票の設問中の「あなた」とは、封筒のあて名の方を指します。回答はできる限り、あて名ご本人が記入してください。なお、あて名ご本人おひとりでの回答がむずかしい場合は、ご家族や周りの方がお手伝いいただくか、あて名ご本人の意見を聞いたうえで代わりに記入してください。
12. 濃い鉛筆又は黒のボールペンで記入してください。
13. お答えをいただく際は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。
の場合は回答内容等を記入してください。
14. ○の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。
15. 「その他」に○印をつけられた方は、〔 〕内に具体的な答えを記入してください。

調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。

記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

11 月●●日(●)までにご返送ください。

調査についてご質問などがありましたら、次までお問い合わせください。

■調査についてのお問い合わせ先

府中市福祉保健部高齢者支援課地域支援係

☎ 042-335-4011（直通）

介護予防に関する調査

調査票のご記入に先立ちまして、おたずねします

※以下の質問で、「あなた」とはあて名の方ご本人のことです。お間違えのないように教えてください。

F 1 あなたは現在どちらにいますか。(1つに○)

1. 自宅

3. 病院等に入院している

2. 市外に転出

4. その他〔具体的に： 〕

「2. 市外に転出」をお選びになった場合は、ここまでのご記入で結構です。
返送してください。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

F 2 この調査票はどなたがご記入されますか。(1つに○)

1. あて名ご本人

2. ご家族

3. その他〔具体的に： 〕

あなた(あて名**ご本人**)のご家族や生活状況についておたずねします

F 3 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

1. 男性

2. 女性

F 4 あなたの年齢をお答えください。(1つに○)

＊平成 25 年 9 月 1 日現在の年齢でお答えください。

1. 65～69 歳

3. 75～79 歳

5. 85～89 歳

7. 95 歳以上

2. 70～74 歳

4. 80～84 歳

6. 90～94 歳

F 5 あなたの世帯の状況をお答えください。(1つに○)

1. ひとり暮らし(自分のみ)

4. 子や孫など同居

2. 夫婦のみ(配偶者は 65 歳以上)

5. 1～4以外で全員が 65 歳以上

3. 夫婦のみ(配偶者は 65 歳未満)

6. その他〔具体的に： 〕

F 6 日中、あなたはひとりであることが多いですか。(1つに○)

1. ひとりであることが多い

2. ひとりであることは少ない

健康づくりの取り組みについておたずねします

問80 ふだんから健康づくりのために気をつけていることがありますか。

(いくつでも○)

1. 栄養バランスやかむ回数に気をつけて食事をしている
2. 口の中を清潔にしている(歯磨き、うがいなど)
3. ウォーキングや体操など、定期的に運動をしている
4. 規則的な生活を心がけている(夜更かしをしないなど)
5. たばこをやめた、または本数を減らしている
6. 飲酒回数や飲酒量を減らしている
7. パズルや計算作業など、脳のトレーニングに取り組んでいる
8. 定期的に健康診断を受けている
9. かかりつけの医師(主治医)に定期的に診てもらっている
10. 気持ちをできるかぎり明るく保つ
11. 休養や睡眠を十分にとっている
12. その他〔具体的に： 〕
13. 特にない

問81 過去1年の間に健康診断を受けられましたか。(1つに○)

1. 受けた
2. 受けていない

問82 健康診断についてどのようにお考えですか。(いくつでも○)

1. 積極的に受けたい
2. 病気の発見に有効である
3. 健康なので健康診断は必要ない
4. 医者にかかっているので必要ない
5. 事前の飲食制限が負担である
6. 身体の悪い点を指摘されるのは嫌だ
7. 費用が多くかかる
8. 時間がかかる

問83 あなたは、日ごろどのくらい外出されていますか。(1つに○)

1. ほぼ毎日
2. 一日おき程度
3. 2～3日おき程度
4. 週に1日程度
5. 外出しない週もある

問84 外出の主な目的は何ですか。(いくつでも○)

1. 仕事
2. 買い物
3. 趣味活動
4. 友人・知人と会う
5. 身内の者と会う
6. ボランティア活動
7. 通院やリハビリ
8. その他
- 〔具体的に： 〕

問85 あなたは、外出することについてどのようにお考えですか。（いくつでも○）

- 〔良いと感じる〕
1. 外気にふれると気分転換になる
 2. 健康維持につながる
 3. 友人や知人との交流を保てる
 4. 地域やまちの変化が分かる
 5. 新しい情報を取り入れることができる

- 〔負担に感じる〕
6. お金がかかる
 7. 外出はおっくうである
 8. 交通が不便なので負担が大きい
 9. 身体が不自由で外出しにくい
 10. 家で過ごすのが好き
 11. その他〔具体的に： 〕

介護予防についておたずねします

問86 あなたは、寝たきりや認知症など、介護を必要とする状態にならないよう、介護予防に取り組んでいますか。（1つに○）

1. 意識して取り組んでいる
2. 体力が落ちてきたら取り組みたい
3. もう少し歳をとってから取り組みたい
4. きっかけがあれば取り組みたい
5. 興味はあるが、具体的な取り組み方がわからない
6. その他〔具体的に： 〕
7. 興味・関心がない

問87 あなたは、以下の介護予防サービスを利用したことがありますか。

（①～⑥のそれぞれ1つずつに○）

	利用した ことがある	現在利用 している	利用した ことはない
①転倒予防（ころばん教室）	1	2	3
②低栄養・口腔機能の低下予防（ひと口教室）	1	2	3
③うつ予防（はっぴー教室）	1	2	3
④認知症予防（忘れん教室）	1	2	3
⑤尿失禁予防（女性のための体操教室）	1	2	3
⑥地域デイサービス（ほっとサロン）	1	2	3

↓
問 10 へ進む

問 9-2 へ進む

問88 問8で、すべての介護予防サービスを「利用したことはない」とお答えの方におたずねします。これらの介護予防サービスを利用しない理由は何ですか。
(いくつでも○)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 健康管理を心がけている | 7. サービスの内容がわからない |
| 2. 日常生活の中で努力すればよい | 8. 実施期間が長い |
| 3. 利用するほど悪いとは思わない | 9. 一緒にやる人がいない |
| 4. 効果があるとは思わない | 10. 相談先がない |
| 5. 場所（会場）が遠い | 11. 介護予防という言葉に抵抗感がある |
| 6. 時間が合わない、忙しくて行けない | 12. その他〔具体的に： 〕 |

問9-1 今後、次にあげる介護予防サービスを利用したいと思いますか。
(いくつでも○)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 転倒予防教室 | 6. 地域デイサービス |
| 2. 低栄養・口腔機能の低下予防教室 | 7. 保健師等の訪問による生活のアドバイス |
| 3. うつ予防教室 | 8. 介護予防の取組を体験できる講座 |
| 4. 認知症予防教室 | 9. その他〔具体的に： 〕 |
| 5. 尿失禁予防教室 | 10. 利用したいサービスは特にな |

→問10へ進む

問9-2 問8で「1. 利用したことがある」「2. 現在利用している」と答えた方におたずねします。介護予防サービスを利用するようになって変わったことはありますか。(いくつでも○)

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| 1. 通院回数が減った | 5. 他の人と交流でき、外出の回数が増えた |
| 2. 薬を飲む量が減った | 6. 介護予防に積極的に取り組むようになった |
| 3. 体力が向上した | 7. 具体的な成果はなかった |
| 4. 気持ちが前向きになり生活には
りがでた | 8. その他〔具体的に： 〕 |

問89 問8で「1. 利用したことがある」と回答した方におたずねします。利用終了後はどのようにされていますか。(1つに○)

- | | |
|----------------------|-----------|
| 1. できる範囲で運動などを継続している | } →問11へ進む |
| 2. 卒業した人たちと一緒に継続している | |
| 3. 特に何もしていない | |

問 10-1 問 10 で「3. 特に何もしていない」とお答えの方におたずねします。特に何もしていないのはどのような理由ですか。具体的にお書きください。

問90 介護予防プラン（マイプラン）※についておたずねします。介護予防サービスを利用するにあたって、「介護予防プラン（マイプラン）」を作成してみて、どのように思いましたか。（いくつでも○）

- | | |
|-----------------------|----------|
| 1. 自分の生活を振り返るきっかけになった | 4. その他 |
| 2. プランの内容がよくわかった | 〔具体的に： 〕 |
| 3. プランの内容をやってみようと思った | |

※介護予防プラン（マイプラン）：介護予防が必要な方のための日常生活や運動、社会参加の目標やプログラム等を盛り込んだ計画表

問 11-1 あなたは、その介護予防プラン（マイプラン）の説明について、どのように感じましたか。（いくつでも○）

- | |
|----------------------------|
| 1. 専門用語を使わずにわかりやすく説明してくれた |
| 2. なぜ介護予防が必要か、きちんと説明してくれた |
| 3. 今後必要なときには、また面談を受けたいと思った |
| 4. いろいろ聞かれて迷惑と思った |
| 5. 説明内容がわかりにくかった |
| 6. その他〔具体的に： 〕 |
| 7. 特にない |

問91 これから府中市の「介護予防」に望むのはどのようなことですか。
(いくつでも○)

- | |
|----------------------------------|
| 1. さまざまな介護予防事業を継続的に実施する |
| 2. 誰でも気軽に参加しやすいように介護予防事業の内容を改善する |
| 3. 介護予防の自主グループなど市民による自主的な運動に広げる |
| 4. 地域住民による声かけや誘い合いを促進する |
| 5. 自分の介護予防の効果を一目で見られる情報を提供する |
| 6. 全国の最新の取り組みを知らせる情報を提供する |
| 7. 介護予防は効果がないので必要ない |
| 8. その他〔具体的に： 〕 |
| 9. 特にない |

生活習慣についておたずねします

問92 食生活を改善するために必要なことは何だと思いますか。(いくつでも○)

1. 食生活改善のための知識
2. 家族の協力・助け（食事を作る等）
3. 楽しみながら取り組めること
4. 結果が出ること
5. 栄養に配慮した食事をつくる技術・コツ
6. 管理栄養士等専門家のアドバイス
7. 短時間で調理ができる
8. 一緒に取り組む仲間
9. 適切な情報が得られること
10. 栄養に配慮した食事を提供してくれる店があること
11. テレビ番組や広告などでの過度の刺激や誘惑が制限されること
12. その他〔具体的に： 〕

問93 運動習慣を改善するために必要なことは何だと思いますか。(いくつでも○)

1. 楽しみながら取り組めること
2. 結果が出ること
3. 体を動かしたり、運動する場所
4. 体づくりや運動に関する知識
5. 簡単にできること
6. 家族の協力・助け
7. 一緒に取り組む仲間がいる
8. 運動指導士等専門家のアドバイス
9. 運動などの技術
10. スポーツクラブに通う経済的なゆとり
11. その他〔具体的に： 〕

問94 今後、健康を維持するために次のサービス等を利用したいと思いますか。
(いくつでも○)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 定期的な健康診断 | 7. 心の健康に関する相談 |
| 2. がん検診 | 8. 地域での自主的な健康づくり活動への支援 |
| 3. 歯の健康に関する相談 | 9. 健康づくりについて学ぶ場の提供 |
| 4. 食事や栄養バランスに関する相談 | 10. その他 |
| 5. 運動ができる場や機会等に関する情報提供 | 〔具体的に： 〕 |
| 6. 禁煙に関する相談 | 11. 利用してみたいサービスはない |

認知症についておたずねします

問95 高齢化の進行で、「認知症」になる人の割合が高くなることが予想されています。あなたはこの認知症について、どのようなことをご存知ですか。

(いくつでも○)

1. 認知症は、脳の病気を原因疾患とし、誰にでも起こりうるものであること
2. 認知症の症状には、記憶障害や時間・場所が分からなくなるなど共通の症状と、妄想、幻覚、徘徊など個人差のある症状があること
3. 認知症の抑制には、食生活や生活習慣等で改善の効果があると認められていること
4. 認知症は高齢期だけでなく、若い世代でも発症する若年性認知症があること
5. 認知症は早期に発見することにより、進行を遅らせることができること
6. どれも知らなかった

問96 認知症を予防するために必要なことは何だと思えますか。(いくつでも○)

- | | |
|--------------------|-------------------------------------|
| 1. 認知症や認知症予防に関する知識 | 6. 一緒に取り組む仲間がいること |
| 2. 医師や保健師等のアドバイス | 7. 家族の協力・助けがあること |
| 3. 楽しみながら取り組めること | 8. 適切な情報が得られること |
| 4. 簡単にできること | 9. その他〔具体的に： 〕 |
| 5. 結果が出ること | 10. わからない |

問97 府中市では、認知症予防について啓発活動を実施しています。あなたは参加したことがありますか、また今後参加したいですか。(①、②それぞれ1つずつ○)

	参加したことがある	現在参加している	知っているが参加したことがない	知らない	参加したくない
①認知症サポーターささえ隊養成講座	1	2	3	4	5
②認知症に関する講演会やシンポジウム	1	2	3	4	5

問98 認知症になっても、住み慣れた家で暮らし続けたいと思えますか(1つに○)

1. どうしても住み慣れた家で暮らし続けたい
2. できることならば住み慣れた家で暮らし続けたい
3. 適切な施設があれば入所したい
4. わからない

問99 認知症になっても、住み慣れた地域で生活を送れるためには何が必要だとお考えですか。(いくつでも○)

1. 認知症についての啓発活動の充実
2. 認知症の相談窓口や相談体制の整備
3. 地域による見守りや支援体制の充実
4. 認知症の高齢者や家族を支援する福祉サービスの充実
5. 認知症対応型通所介護（認知症高齢者専用のデイサービス）・ショートステイ（短期入所）などの整備
6. グループホーム（認知症高齢者が共同生活する住まい）などの専門的な施設の整備
7. 特別養護老人ホームなどの整備
8. 認知症に関わる専門職の育成
9. その他〔具体的に： 〕

地域のつながりについておたずねします

問100 日ごろ隣近所の人と、どの程度おつきあいをしていますか。(1 つに○)

1. 個人的なことを相談し合える人がいる
 2. さしさわりのないことなら話せる相手がいる
 3. 道で会えばあいさつをする程度の人ならいる
 4. ほとんど近所づきあいをしない
- } → 問 22 へ進む

問 21-1 問 21 で「3. 道で会えばあいさつをする程度の人ならいる」または「4. ほとんど近所づきあいをしない」と答えた方におたずねします。その主な理由は何ですか。(いくつでも○)

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 仕事や家事で忙しく時間がないから | 5. 気の合う人・話の合う人が近くにいないから |
| 2. 引っ越してきて間もないから | 6. あまり関わりを持ちたくないから |
| 3. 普段つきあう機会がないから | 7. その他 |
| 4. 同世代の人が近くにいないから | 〔具体的に： 〕 |

問101 あなたは、現在、どの程度生きがい（喜びや楽しみ）を感じていますか。
(1 つに○)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 十分感じている | 4. まったく感じていない |
| 2. 多少感じている | 5. わからない |
| 3. あまり感じていない | |

問103（高齢者のみならず）地域住民が安心して暮らすことができるよう、地域の支え合いとして、あなたご自身ができることは何ですか。（3つまで○）

1. 安否確認など
2. 趣味など世間話の相手
3. 介護などの相談相手
4. 炊事・洗濯・掃除などの家事
5. ちょっとした買い物
6. 子ども等支援が必要な家族の預かり
7. 外出の付添い
8. 災害時の手助け
9. ゴミ出し・雨戸の開け閉め
10. 電球交換や簡単な大工仕事
11. その他〔具体的に： 〕
12. 特にない

問103（高齢者のみならず）地域住民が安心して暮らすことができるよう、地域の支え合いとして、あなたご自身ができることは何ですか。（3つまで○）

1. 安否確認など
2. 趣味など世間話の相手
3. 介護などの相談相手
4. 炊事・洗濯・掃除などの家事
5. ちょっとした買い物
6. 子ども等支援が必要な家族の預かり
7. 外出の付添い
8. 災害時の手助け
9. ゴミ出し・雨戸の開け閉め
10. 電球交換や簡単な大工仕事
11. その他〔具体的に： 〕
12. 特にない

問104 今後介護が必要になったら、どこで生活したいとお考えですか。（1つに○）

1. 家族などの介護を受けながら自宅で生活したい
2. 在宅サービスを受けながら自宅で生活したい
3. 特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所したい
4. 有料老人ホームに入居したい
5. グループホーム（少人数を単位とした小規模な共同住居）に入居したい
6. 見守りや生活支援サービス等のついた高齢者向け住宅に入居したい
7. 自宅近くで様々なサービスが受けられる小さな施設（小規模多機能型居宅介護）などを利用しながら生活したい
8. その他〔具体的に： 〕
9. わからない

問105「介護保険制度」全体をよりよくするために、**府中市**が力を入れるべきことは次のうちどれですか。（3つまで○）

1. サービス事業者の質を高めること
2. ケアマネジャーやホームヘルパーなどの人材を育成すること
3. **府中市**内に特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護施設を増やすこと
4. **サービス**利用料を補助するなど利用者の費用負担を軽減する**経済的給付を増やすこと**
5. **介護支援ボランティアポイント制などの新しい仕組みを考えること**
6. 介護保険についての市民向けの勉強会などを実施すること
7. 寝たきりにならないよう、介護予防のサービスに力を入れること
8. 高齢期に住み続けられる、**住まい**の施策を充実すること
9. 地域全体で介護を支援するしくみづくりを行うこと
10. 身近な地域で**介護保険**サービスが受けられる拠点を増やすこと
11. 困ったときに気軽に介護相談ができる場所を増やすこと
12. 家族介護の負担を軽減する**支援策**を充実すること
13. 地域包括支援センターの機能を充実すること
14. 介護保険サービスをカバーする**府中市**の高齢者保健福祉サービスを充実すること
15. 介護保険制度を使いやすいものにすること
16. その他〔具体的に： 〕
17. わからない

問106 高齢者保健福祉サービスについておたずねします。府中市では介護保険以外にも様々な高齢者保健福祉サービスを行っています。以下の①～⑨の各サービスの利用状況、今後の利用意向についておたずねします。（サービスごとに「利用状況」「利用意向」に1つずつ○）

サービス名	サービス内容	利 用 状 況				利 用 意 向		
		利用している	利用したことがある	知っているが利用していない	知らない	利用したい	利用したくない	わからない
①「食」の自立支援サービス	ひとり暮らし等の人、調理した食事を自宅に届けて安否確認を行う	1	2	3	4	1	2	3
②自立支援ショートステイ	月7日を上限に養護老人ホームに滞在し健康管理や食事提供などを行う	1	2	3	4	1	2	3
③高齢者医療ショートステイ	月7日を上限に市内の医療機関に入院し健康管理や食事提供などを行う	1	2	3	4	1	2	3
④日常生活用具給付とレンタル	一時的に身体機能が低下している方に用具などを貸与または給付する	1	2	3	4	1	2	3
⑤はいかい高齢者探索サービス	はいかい探索システムを用い、行方不明時に早期に居場所を発見し、事故を防止する	1	2	3	4	1	2	3
⑥日常生活用品（おむつ）の助成	おむつが必要な方が布または紙おむつのどちらかを自宅で受け取れる	1	2	3	4	1	2	3
⑦車いす福祉タクシー	リフト付タクシーによる通院を年間24回を限度に利用できる	1	2	3	4	1	2	3
⑧寝具乾燥サービス	月1回、寝具を自宅まで受け取りに行き、その日のうちに乾燥して返す	1	2	3	4	1	2	3
⑨訪問理髪サービス	自宅に月1回理容師が訪問して理髪が受けられる	1	2	3	4	1	2	3

（注）サービスの利用に際しては、利用条件のあるものもあります。

問107 府中市が取り組む高齢者保健福祉サービスとして、次のうちどれを優先して充実すべきとお考えですか。（3つまで○）

1. 生きがいづくりを推進すること（ボランティア、文化・スポーツ活動の促進など）
2. 高齢者が働く場所を確保すること
3. 世代間の交流・相互理解を促進すること
4. 介護予防サービスを充実すること
5. 訪問介護やデイサービスなど在宅の福祉サービスを充実させること
6. 特別養護老人ホームや老人保健施設など施設のサービスを充実させること
7. 高齢者向けの住宅を整備したり、住宅改造を支援すること
8. 認知症など病気や障害を持つ高齢者への対策を充実すること
9. 家族介護者への支援制度を充実すること
10. 健康教育、健康相談、健康診査等の保健事業や医療体制を充実させること
11. 健康づくりを推進すること（健康教室の開催・スポーツ活動の促進など）
12. 保健・福祉関係の相談を受ける窓口を充実させること
13. 保健・福祉サービスに関する人材を育成すること（保健師、介護職員など）
14. ボランティアの育成、NPO※の支援など民間活動を支援すること
15. 道路の段差解消や公共的な建物へのエレベータの設置など、高齢者にやさしいまちづくりを推進すること
16. その他〔具体的に： 〕
17. 特にない

※ NPO: 非営利での社会貢献活動や慈善活動を行う団体のこと

高齢者の権利擁護などについておたずねします

問108 高齢者の権利や生活を守るために、以下のようなものがありますが、あなたがご存じのものはありますか。（いくつでも○）

- | | |
|----------------------------------|--------------------------------|
| 1. 成年後見制度 | 6. 府中市の相談窓口 |
| 2. 日常生活自立支援事業 | 7. 府中市社会福祉協議会
（ふれあい福祉相談室など） |
| 3. 府中市地域包括支援センター | 8. 権利擁護センターふちゅう |
| 4. 府中市高齢者見守りネットワーク
（危機去れシステム） | 9. 消費生活相談室 |
| 5. 高齢者虐待防止法 | 10. 知っているものはない |

問109 あなたのまわり（あなたご本人も含む）に、下の枠内のようなことでお困りと思われる方はいらっしゃいますか。（いくつでも○）

<例>

- ・金銭管理ができない
- ・福祉サービスの利用に対する苦情が言えない
- ・悪質商法にだまされた
- ・土地の権利書など重要書類の管理ができない
- ・行政や金融機関などへの窓口手続きができない

1. あなたご本人
2. 配偶者
3. 子ども
4. 親族
5. 知人
6. 近隣の人
7. その他〔具体的に： 〕
8. いない →問 31 へ進む

問 29-1 問 29 で「1」～「7」のいずれかをお答えの方におたずねします。それはどのような事例ですか。(いくつでも○)

1. 金銭管理ができない
2. 悪質商法にだまされた
3. 行政や金融機関などへの窓口手続きができない
4. 福祉サービスの利用に対する意見が言えない
5. 土地の権利書など重要書類の管理ができない
6. その他〔具体的に： 〕

最後に、**府中市**への要望についておたずねします

問110 高齢者保健福祉や介護保険について、府中市の要望・意見や知りたい情報がありましたら、ご自由にお書きください。

グループインタビューにご参加していただける方のみ お答えください

※府中市では、市民の皆様の声を反映した計画を策定するため、平成 25 年 12 月頃にグループインタビューの実施を予定しております。ご参加いただける場合は、お手数ですが、下記にお名前、住所、連絡先（電話番号、FAX 番号）をご記入ください。日時・場所等詳細が決まりましたら、あらためてご連絡させていただきます。なお、参加者が多数の場合は、お断りさせていただく場合もございますので、予めご了承ください。

お 名 前	
住 所	
電話番号	
FAX 番号	

———ご協力ありがとうございました———